わたしたちの町

人　　口（男）…4,781人
　　（女）…5,082人
　　計…9,854人
1月中の転入……30人
　　転出……20人
世　帯　数……2,290世帯

（1月末日 住民登録人口調）

広報 あいかわ

No.261

発行日・55．2．8（2,800）
発　行・秋田県合川町
編　集・企　画　室
電話　018678－2111

おめでとう　新しい船出・20歳の声

「これからは、一人の人間として認められるのだ。やっと……」「これからはA子やB子で通用しなくなるのがこわい」「10代から20代にうつった時は、ひどく年をとった感じでショックでした」「成人を期に何か資格を持ちたい」「たんなる通過点」「いくつになっても少年の頃のような新鮮な感覚を大事にしていきたい」「誠実に前向きに素直に生きたい」「自己が自己を意志して生き、生き尽くす」「将来に目標を持って社会に出てもはずかしくない大人になりない」（写真＝中学校時代の恩師を囲んで記念写真（女子）文＝20歳の感想から）

町づくりにでっかい夢・くらしの声を

青年婦人議会数えて15回目

青年婦人議会は、一月二十七日、合川町公民館で開かれました。町政の学習をかねて、青年婦人の声を、直接、町の発展に結びつけようと始められたこの議会は、数えて第十五回。青年らしい卒直な提言や婦人の台所からの要望など、熱心な論議がかわされました。

はじめに、町長が行政報告。東北の歴史の一面を語りながら「一人の青年の小さな力が、やがて地域を動かす大きな力になる。一人一人の真剣に生きようとする力を育てたい」と、町政にのぞむ、基本的な考えをのべました。

一般質問や分科会の話し合いでは、青年婦人が町民のアンケート調査など、具体的な資料をもとに、要望の実現をせまりました。

明るい町づくりのために

〔一般質問＝金田ハナさん（駅前）〕

①青少年を健全に育てるための具体策を示してほしい。

②通学路の街頭を年次計画で整備するべきだ。

③李岱バイパス、福田付近交差点に信号機を。

恵まれた大自然を教材にして子供たちを育てたい。家庭、学校が連絡を取り合って子供が自主的に〝テレビ離れ〟ができるようにすすめている。（教育長）

街頭は、全町的問題として、予算、必要度などを検討する。信号機は、李岱入口、福田交差点の順で、設置を折衝している。（町長）

町議会を町民のものに

〔佐藤重人さん＝川井〕

①図書館の建設を。

②議員定数を削減し議事内容を〝議会広報〟として町民に知らせてほしい。

農村環境改善センターを五十五年度に調査設計するための予算要望に全力をあげている。その中に図書館も実現させたい。本も読む運動もすすめてほしい。（町長）

町民の多くの要望を町政に反映させる意味で、定数減は否決されてきている。議会広報は、財政面の問題、内容の問題で、発行しないでいるが、いずれも、改選後に話し合うことになろう。（議会総務財政委員長）

税金は高くないか？

〔松岡祥子さん＝羽根山〕

①栄養士の配置、保健婦を増員すべきだ。②他町村より税金が高くはないか？

血圧要注意者の管理、減塩など、運動は着実に進んでおり協力に感謝する。町職員に欠員があれば、保健婦の増員を考える。

税金は国の税法で決まっており、町村間の上下は、ほとんどない。国民健康保険税は、医療費によって決まるため、正しい医療を呼びかけている。（町長）

自治意識の高揚を

〔桜田裕悦さん＝東根田〕

①観光、福祉、農産加工など、大野岱の開発に全力を。

②行政の簡素化と町民の自治意識の高揚を考えるべきだ。

大野台の経済効果を高めるため、多方面で開発の道を探っている。東地区簡易水道計画の中で、大野台に水を揚げるために、国、県に協力を求めている。

四月から、役場機構を変える考えでいる。町民の行政の学習の機会をふやし、事業でも、やる、やらないをはっきりさせながら、選択の時代の、住民参加の町づくりをすすめたい。（町長）

〔分科会での質問から〕

○農業の展望は？

指導センター、町、農協が協力し、技術指導、後継者対策を中心に、全力をあげて取り組んでいる。畑地が捨て作りにならない指導も考えていく。

○町行造林事業の今後は？

枝打、間伐の補助事業の指定に努力している。五条岱は、県の試験林に指定され、モデル的な管理を行なうことにしている。

○野外音楽堂の建設は？

若人の集いの場として、五十五年度着工を予定している。

○町民体育館の建築は？

三億五千万円程度の規模で、財源を考えている。建設年度は決まっていない。

○学校体育館を午後九時半すぎも利用させてほしい。

警備担当者とも話し合って時間を延長したい。

○青少年に悪い影響のあるポスター等を禁止すべきだ。

町で強制すべきものではないが、町民活動により呼びかけを強めてほしい。

※青年婦人議会では、〝青年婦人議会広報〟を全町に配布する予定です。

金田ハナ議員の一般質問

明るい選挙を進める決議文

依然として続く暗い不況のニュースの中で、ことしは合川町議会議員一般選挙を始め参議院議員通常選挙を迎えるが、私たちには町政に、国政にそして二十一世紀に向けて重要な選択の義務が課せられている。

また、それらの選挙は民主主義を支える柱であるとの認識を深めるとともに、出稼ぎ、減反、社会福祉等身近かな問題に対処すべき真剣な判断に迫られていることをわれわれも自覚すべきである。

われわれは、いたずらに地域エゴに固執することなく『酒を飲まない、飲ませない選挙』『もとめない、もらわない、おくらない』明るく正しい選挙の実現に向けて強力な運動を展開する。

以上決議する。

合川町青年婦人議会

町長日記から

今年も冬らしい冬になり、雪の無いところはいいなあと思ったり、雪がふらないと雪国の人の心は落ちつかない。と思ったり、人々の思いはいろいろである。

学童スキーなどの場合は後者の方であり、老人や病人は前者である。

町の建設課の除雪班の場合も、雪が降らないと手持ち無沙汰（ぶさた）であるが、毎日のように降ると睡眠時間もないありさまであり、燃料はばく大に使う。

雪の功罪は二つに分かれるが、しかし現実雪が降るからには、その利用を考えなければならない。

昔は、堆肥や薪の運搬、そして山からの木材の運搬は、すべて雪道を利用した。しかし、車の時代は完全にそれを押しやってしまった。

二月二十四日、大野台ハイランド周辺で、歩くスキーの全県講習会を、県教委やフィンランド協会が主催するそうだ。

すべての健康の基本は脚をじょうぶにすることにあるのだから、くりを全県に普及しようとするこのような考えに賛成したい。（義）

80年代から21世紀に向かって

あなたが主役・町を育てる正しい一票

町の選挙管理委員会では去る一月九日委員会を開き、来る三月三十日で任期満了となる町議会議員の一般選挙の期日等について協議しましたが、三月十二日（水）告示、同十九日（水）選挙（投票・開票）と決定しました。

ことし三月三十日及び三十一日に議員の任期が満了となる町村は県内で二十数カ町村ありますが、これを統一して行うことについては県の選挙管理委員会とも非公式に協議してきましたが、ほとんどの町村が同意しいわゆる〝ミニ統一地方選挙〟として実施することがきまったわけです。

〝豊かで、住みよい、そして明るい合川町〟をつくる礎となる町議会議員の選挙は、私たち町民にとり最も身近なたいせつなことの一つです。

町の発展や、住民の生活向上と直結する四年に一度の町議会議員選挙が〝明るく正しく〟行われるようみんなで心がけたいものです。

投票日は三月十九日

町議会議員一般選挙　日程きまる

昨年の県議選の開票風景

清く正しい一票を!!
投票時間―午前七時から午後六時まで

町議会議員選挙は、私たち町民の代表者を決めるためのたいせつな選挙です。

よりよい町政は、町民の生活向上に結びつくわけですから、候補者を選ぶときは義理や人情にとらわれることなく、自分の正しい判断によって投票するように心がけたいものです。

来る三月十九日の投票日には、つぎのことがらに注意し〝**だいじな清い一票**〟を正しく投票するようにいたしましょう。

◆投票できる時間

投票のできる時間は午前七時から午後六時までとなっております。午後六時を過ぎますと、どんな理由があっても絶対に投票することができませんから投票所には、いくらかの時間的余裕をもって出かけることが必要です。

◆投票所に出かけるときには

入場券は、前もって選挙有資格者全員に渡されますからこれを忘れないで持っていき、投票所の受付係にお出し下さい。

入場券を持っていかないと、照合などに手間どり時間のかかることがありますが、忘れたり、なくしたりしたときは、そのことを係員に申し出れば再発行を受けたうえで投票することができます。

◆投票用紙には候補者の氏名を正しく書く

受付が終ると投票用紙が一枚渡されます。この投票用紙に自分が投票しようとする候補者の氏名を一人だけ正しく書くこと。二人以上の候補者の氏名を書いたり、よけいなことを書くとその投票は無効です。

投票を書く台の前には、候補者の氏名が掲示されていますから、よく確かめてから正しくハッキリと書きましょう。

◆代理投票の制度もあります

身体の故障や文盲などのため、投票用紙に自分で字を書くことができない人のために〝代理投票〟という制度があります。

これは、投票所の係員二人が選挙人からの申し出を一人が聞いて書き、一人が立合って投票させるものです。

なお、この制度では法によって秘密が守られることになっていますから絶対に心配はありません。

選挙人名簿

―ぜひとも縦覧を―

満二十歳以上の日本人は、原則として選挙権がありますが選挙人名簿に名前がのっていなければ、いつの選挙でも投票はできないことになります。

選挙人名簿は、町の住民基本台帳に基づいて選挙人の氏名、住所、性別、生年月日などが記載されているもので、町の選挙管理委員会が作り、国、県、町の選挙のときに共通して用いられます。

選挙人が、一度この名簿に登録されると選挙資格に異動がない限り、永久に選挙権を行使できるといういわゆる「永久選挙人名簿制度」がとられています。

◆自分で確かめよう自分の選挙資格

来る三月十九日の町議会議員選挙では昭和三十五年三月二十日以前に生れ、昭和五十四年十二月十日以前から引き続き三カ月以上合川町の住民基本台帳に登録されている人が、選挙有資格者となります。

また、町の選挙管理委員会では満二十歳になって新しく選挙権を得た人、ほかの市町村から転入して合川町に引き続き三カ月以上住んでいる人を加えて当町の選挙人名簿を整備し、**三月十一日と十二日の二日間午前八時半から午後五時まで**、選挙管理委員会事務局（役場二階にあります）で縦覧させることにしていますが、この期間内にはぜひとも選挙人名をみて自分の選挙資格の有無を確かめておきましょう。

◆不在者投票のできる理由は?

①有権者が、選挙人名簿に登録されている投票区の区域外で、職務または業務に従事しているとき。（たとえば、鉄道乗務員の場合や商品仕入、仕事での出張など）

②やむを得ない用務または事故のため、合川町以外の市町村に旅行または滞在中の人。（たとえば、冠婚葬祭、旅行など）

③病気、負傷、妊娠などで指定病院等に入院中で歩くことが著しく困難である場合。または監獄や少年院、婦人補導院などに収容中である人。

◆不在者投票のできる場所は?

不在者投票は、合川町の選挙管理委員会でできる方法と、合川町以外の市区町村の選挙管理委員会、それに県の選挙管理委員会で指定した病院、老人ホーム、国立療養所等でできますが具体的には次の三つに分けられます。

一、合川町選挙管理委員会で行う場合

選挙管理委員会に用意してある〝不在者投票用紙請求書兼宣誓書〟に、投票当日自ら投票所に行くことができない事由のほか、本人の現住所、選挙人名簿に記載されている住所、氏名、年年月日、職業などを書きこれを出して投票をします（この場合は、**ハンコ**がいりますから忘れずに持ってくること）

二、合川町以外の市区町村の選挙管理委員会で行う場合

合川町の選挙人名簿にのっている人が長期間にわたって出張中、または出稼ぎに行き長いあいだ他の市町村で仕事をしていて投票当日自分の所属する投票所で投票できない場合に該当します。

これらの人は、合川町の選挙管理委員会あてに直接か郵便で「投票用紙および不在者投票用封筒」の請求をし、あわせてどこの市区町村で投票するかをハッキリと書いてもらいます。

こうして請求を受けた町の選管では直ちに本人に対して郵便で投票用紙などを交付しますが、郵便が届いたら出張先（滞在地）の選挙管理委員会にそれを持っていき、そこの委員会の係員の指示により不在者投票を済ませることになります。

郵便の中には、投票用紙、封筒（二種類）、不在者投票証明書（厳封）、注意書きなどが入っていますが、その中の**不在者投票証明書は自分で開封すると無効**となり、不在投票ができませんので十分に注意して下さい。

三、指定病院や指定施設などで行う場合

不在者投票のできる指定病院や、国立療養所、少年院、婦人補導院、老人ホームなどに入っている人は、本人が不在者投票をしたいと院長や所長などに申し出れば、投票に必要ないっさいの手続きをとってくれることになっています。

不在者投票をいかして、棄権をなくしましょう

三月十九日の投票日に、次のような理由で投票所に出かけて投票することができない人のために投票日の前（三月十二日から十八日まで）でも投票ができる「不在者投票」という制度があります。

時間は午前八時半から午後五時までですが、投票日に投票できない理由のある人は、この制度をよく理解のうえ棄権することのないように心がけましょう。

告示前でもできる不在者投票の請求

出稼ぎなどのため、長い期間不在であり合川町以外の市区町村で不在者投票をしなければならない人は、**事前（告示の前でも）に請求をしておくこともできます**ので、本人または家族の方から選挙管理委員会にお申し出て下さい。

なお、このための実際の手続きなど詳しいことについては、直接おいで下さるかまたは電話（二、一一一番～二、一一七番）でお問い合せください。

選挙権ミニ知識　学生生徒の住所は?

⊙郷里をはなれて寄宿舎生活をする学生の選挙法上の住所

公職選挙法第二一条に掲げる「住所」とは、一般的にいえば、事実上居住して、その者の日常生活がある程度の継続性をもって通常営まれている場所を指すものと解すべきであり、したがって父母のもとをはなれて寄宿舎などに住んで学生生活をしている者については、一般的には、その現に住んでいる寄宿舎等に「住所」を認むべきであって、父母の住所や学資の出所に、その「住所」があるものとするのは失当である。（昭二九・五・三一・大坂地方裁判所判決）

（自治省通知の要旨）

⊙学生生徒の住所の認定について

勉学のため寮、下宿等に居住する者の住所は、その寮、下宿等が家族の居住地に近接する地にあり、休暇以外にもしばしば帰宅する必要がある等特段の事情のある場合を除き、居住する寮、下宿等の所在地にあるものと認定すべきである。（昭四六・三・三一・自治省振興課長から各都道府県総務部長あて通知）

出産・入学・卒業のお祝い品やお祝い金

旅行の餞別

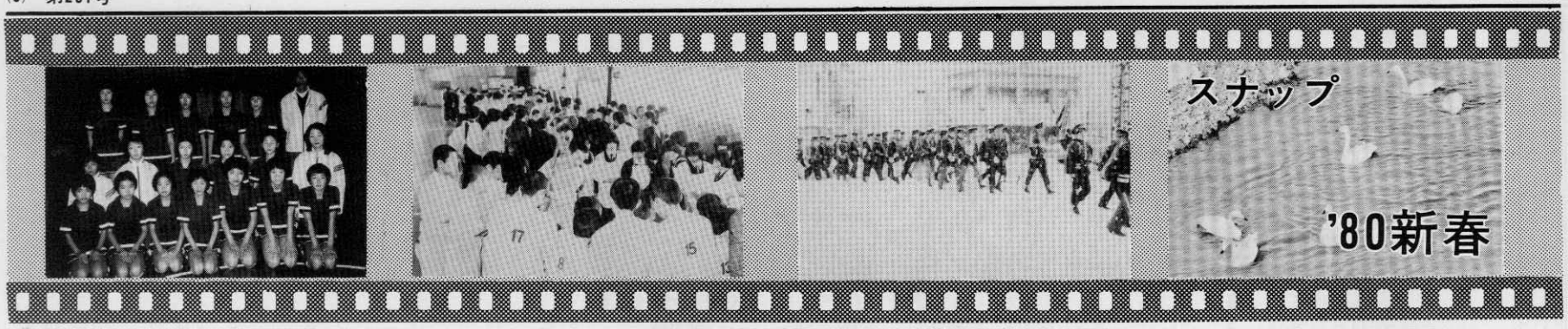
お葬式の香典・花輪や供花

結婚のお祝い金やお祝い品

お祭の寄付やお酒

集会の飲食代

落成式や開店祝いの花輪



南小バスケット県大会で健闘

南小バスケットは8日、全県一の大規模校大曲小と対戦。44－56と惜敗しましたがすばらしい戦いでした。

合中ではモチつき大会

合中体育館では8日、恒例のモチつき大会。実習田で収穫したモチ米を、〝おしるこ〟にして舌つづみ。

無火災無事故を祈って

町消防団は4日、交通指導隊は7日、出初め式を行ないました。寒風の中で無火災無事故を誓い合いました。

北国から純白の使者

根田橋下の小阿仁川に、6羽の白鳥が訪れました。子供たちのパンをよく食べ優雅な姿を楽しませています。

転作を追って

水田再編強化に対応するため、町では、昨年末から各部落代表者や関係機関との話し合いを続けてきました。各農家への仮配分も終え、現在〝集団化〟をすすめるために、各部落に入って協議を重ねています。四月上旬に予定されている正式配分を前に、各農家、各部落を中心に、町ぐるみの新農業の対策が迫られています。

再編対策に四大目標
後継者育成など
農政懇談会

一月八日に開かれた「町農政懇談会」では、それまでの協議内容をまとめながら『合川町農業の四大目標』を定めました。

一、水田再編対策

集団化を図り、排水改良等を積極的にすすめ、地力の増強と技術の向上を図り、農家所得を高めよう。

二、後継者対策

農業後継者の力を結集し、若者の求める新しい農業を積極的に助長しよう。

懇談会には、町、議会、農業委員会、農協など、関係十機関の代表や職員が参加。目標にそって、具体的な活動が展開されることになります。

三、特産物対策

将来的展望に立った町の特産としての農林畜産物の拡大を図り、新しい農業を推進しよう。

四、生活対策

冗費の節約を図るとともに、生活の二重構造から脱却し、時代にふさわしい生活様式を確立しよう。

なりました。

また、翌九日には、部落代表者と推進委員の合同会議を開催。転作の取り組みや、部落別仮配分の方針などを確認しました。

配分の方針は次のとおりです。

① 昭和五十四年度共済引受面積と転作実施面積を基本とし十、八％を乗じた面積を部落別に仮配分する。

② 自己開田は、四十五年度以降分面積の三十％。五十二年開田は百％を加える。

以上の仮配分面積は、部落内の調整にもとづいて正式に農業者に配分されることになります。

指導センタースタート

町の農業を発展させるための全般的な指導を行なう『合川町農業総合指導センター』がスタートしました。

指導センター所長には町長があたり、関係機関、団体から、運営委員（十名）幹事（二十名）が委嘱されています。事務局は、農協本所内に設置。指導体制は整いました。

指導センターでは一、集団協業組合の育成、二、生産経営技術指導、三、土地改良の推進　四、水田再編対策、などのほか、林業、林産物の指導、農業情報の収集、金融指導、生活改善といった農家生活全般の指導を行なうことにしています。

水田再編を乗り切る〝船頭役〟として、農家の期待も大きく、連日、忙しさに追われています。

技術の高度化、経営の専問化にも対応し、ヤル気の大きな分野は積極的にのばしたい方針。後継者の育成も大きな仕事になっています。

現在は、部落内に入って水田再編の〝集団化〟のために努力を続けています。

また、大豆転作者のアンケート調査もすすめています。

五十四年度の十アール以上の転作大豆作付者を対象に栽培状態を調査。問題点を探りながら、〝収入に結びつく転作〟を定着させたいと、はりきっています。

健康大学

ガン・糖尿病
早期発見と努力で克服

ガンの原因は、化学物質、放射線、ビールス、食物などが考えられていますがはっきりしていません。したがって治療方法、予防策にも決定的なものはないのですが、外科手術、放射線療法で、かなりの成果があがっています。ガンは、今後、脳卒中以上にこわい病気になると思いますが、早く見つかれば治療できる病気です。

集団検診でガンが見つかる例も多く、また検診を受けない人で、ガンが進んでしまって亡くなる例も多くなっています。

特に、胃のぐあいが悪い、食欲がないといった時には、必ず検診を受ける心がけが大切です。

糖尿病は、かかってしまうと、たいへん努力が必要な病気です。しかし努力しだいでは、健康な人と変わらない生活ができる病気です。恐いのは糖尿病の人は、合併症としていろいろな病気にかかりやすく低抗力も弱いからです。

ふとりすぎ、満腹感がない、のどがかわく、尿が多くなる＝このような人は要注意です。医者の指導も受けながら〝食事と運動〟で克服しましょう。

一月十七日の健康大学での、北秋中央病院長岸部陞先生、奈良医院奈良正人先生の講演をまとめたものです。

お知らせコーナー

町のこよみ（行事予定）

二月

11日　交通安全協会合川支部総会
13日　ことぶき大学
16日　阿仁部学童スキー大会（阿仁町）
19日　ろばた講座
　　献血車来町
　　生活工夫展（農協）
24日　県民歩くスキーの集い（大野台）
29日～下旬予定　全国火災予防運動
　　定例町議会

三月

3日　ひなまつり
12日　町議会議員選挙告示
15日　中学校卒業式
18・19日　小学校卒業式
19日　町議会議員選挙投票
20日　春分の日（マトビ）

年金　くらしを守る年金制度

国民年金制度ができて二十年。県内の加入者は約三十八万人で年金を受けている人は十五万五千人。年金額は三百七十億五千三百万円にも及んでいます。あなたも、あなたのくらしを守るため、年金に加入しましょう。

◎国民年金に必ず加入しなければならないのは＝農業、商業など自営の人とその家族で二十歳から五十九歳までの人。

◎希望で加入できるのは＝サラリーマンの奥さん、退職年金など他の制度から年金を受けている人とその配偶者、昼間の大学生などで二十歳から五十九歳までの人。

◎かけ金は＝現在三千三百円ですが、四月からは三千七百七十円。付加年金は月四百円で、そのままです。

昭和55年度県町民税申告相談日程表

月日	部落	会場	月日	部落	会場
2月13日	道城	道城児童館	3月3日	杉山田	杉山田公民館
14	上杉	上杉児童館	4	鎌沢	生活改善センター
15	川井	川井公民館	5	三木田	三木田公民館
18	下杉	下杉児童館	6	摩当	摩当児童館
	梅栄	梅栄児童館		芹沢	芹沢児童館
19	木戸石	木戸石児童館	7	三里	三里児童館
20	八幡岱	八幡岱公民館		大内沢	大内沢児童館
	美栄	美栄児童館	10	東根田	東根田公民館
21	増沢	増沢公民館		西根田	生活改善センター
22	李岱	李岱公民館	11	桃栄	桃栄児童館
25	羽根山	羽根山公民館		弥栄	弥栄児童館
	羽立	羽立児童館		金沢	金沢児童館
26	福田	福田児童館	12	駅前	役場大会議室
	新田目	新田目児童館	13	〃	〃
27	雪田	雪田会館	14	不申告者	〃
27	所得税(営庶業)	役場大会議室	15	〃	〃（午前中）
28	同（東）	役場大会議室			
29	同（西、南、北）				

町民税の申告相談

五十五年度の町・県民税の申告相談を左上表の日程で行ないます。

所得税の申告相談・受付は、二十七、二十八、二十九日の三日間。それ以外には行ないませんのでご注意ください。

危険です雪の事故

雪は、積雪深が増すと、その比重が増えてきます。屋根の雪は、遠くから見た感じよりも、もっと重く建て物の負担になっています。ペシャンコになってはたいへんです。早めに雪おろし。雪おろし作業中の事故もふえていますから気をつけましょう。

※ 道路に雪を捨てることは絶対にやめて下さい。

野球場申し込み受け付けます

広域合川球場の使用申し込みは、二月一日から受け付けています。例年、シーズンに入ると、申し込みが混みますから、早めに使用料をそえて予約ください。使用開始、四月二十日からで行ないます。

募集　職場総合美術展

作品　絵画・書道・写真　彫塑・工芸

資格　県内の事業所等の勤労者

申込締切　三月十五日

問い合わせ、申し込み先　県庁産業労働部労政課

無料事故相談

内容　交通事故による保険相談など。

時間　平日午前九時半から午後四時半。土曜日は正午まで。

弁護士相談　毎週木曜日　午後一時から四時

秋田市中通三―二―四四河北ビル五階　秋田自動車保険請求相談センター（電話〇一八八―三二―三二七九）

店頭平均	合川		合川マーケット		鷹巣町		大館市		能代市		県平均	
小売価格	12月	1月	12月	1月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月
砂糖	242	244	235	235	229	229	226	212	226	226	224	226
サラダ油	548	510	480	480	500	505	480	503	513	533	517	528
天ぷら油	507	517	480	480								
小麦粉	162	167	170	170								
しょう油	375	380	360	360								
みそ	314	300	300	300								
とうふ	73	73	70	70								

（毎月15日調べ）

消費者通信

ご存知ですかこのマーク

安全　Sマーク

Sマークは、国や国の委託を受けた機関がチェックした〝安全保障〟の印です。

現在、圧力なべ、バイク用ヘルメット、乳幼児用ベット、金属バットなどに表示が義務づけられています。

マークに気を配り賢い消費者になりましょう。

雪に負けないぞ!!

にぎわった町民スキー大会

第六回町民スキー大会は二十日、根田町民スキー場で開かれました。

雨まじりの雪が降りしきる悪天候にもかかわらず、子供たちは、元気いっぱい。各部落の応援も、年々盛り上がっています。

体力づくりをかねた距離スキーは、年代を超えて楽しめるスポーツとして、すっかり定着。親子連れの練習風景がところどころに見られました。

根田町民スキー場にはりっぱな休憩小屋も完成しました。大会参加者には、東根田親子会で豚汁をサービス。競技のあい間には、豚汁をすする選手たちの歓声でいっぱいでした。

町民スキー大会の優勝者は次のとおりです。（敬称略）

距離四年女子　佐藤あさみ（川井）同男子・松橋則幸（駅前）　五年女子　菊地理加（駅前）　同男子　工藤誠（上杉）　六年女子　工藤敦子（上杉）　同男子　畠山禎久（木戸石）

回転　小学校女子　松橋順子（摩当）同男子　小野光昭（木戸石）中学校　沢藤実（木戸石）畠山伸久（木戸石）

リレー小学校女子①駅前　同男子①駅前　同一般①増沢八幡岱美栄

六年距離優勝　畠山禎久（北＝大会記録賞）③相馬等（北）　**男子リレー**優勝　北小チーム　④東小チーム　**五年距離**③菊地理加（東）**六年同**優勝　工勝敦子（東＝高橋弘子賞）**女子リレー**③東小チーム　**男子総合**②合川北　**女子総合**③合川東　**男女総合**④合川東

阿仁部大会も合川勢大活躍

（二十七日・米内沢）

前走者に追いつけ!!
距離四年生のスタート

集まろう大野台で県民歩くスキーの集い

全日本スキー連盟専務理事**伊黒正次氏**らが、体力づくり
歩くスキーの正しい理論と実技を指導してくれます。
保育園児・小中高生・一般、みんなで参加しましょう
2月24日(日)午前10時半から・集合＝ハイランドハウス前
主催＝秋田県・県教育委員会・大野台開発推進協議会
秋田フィンランド協会　主管＝県スキー連盟・合川町教育委員会

町民参加で『教育を語る会』

〝教育を語る会〟は、PTA、青年層、一般婦人層寿クラブ員など町民各層からの参加者と、学校関係者民生児童委員など、〝子育て〟の担当者が、青少年の健全育成をめざして、語り合おうと開かれたものです。

十三日、町公民館で開かれた会には七十名余りが参加。三分科会での話し合いでは、町や学校への要望とあわせて、次のような提言が出されました。

〈こんな家庭をつくろう〉

○親子の対話。あいさつをしよう。

○物を大切にしよう。与えすぎをやめよう。親の苦労話を確実に子供に伝えよう。

○しつけは家庭から。学校にたよらず、また、学校との連絡を密にしよう。

○腹をへらすことも大切。自主性を育て、感動できる子供にしよう。

○父親と母親の言うことが違うと、精神が不安定になりやすい。

〈こんな社会で育てよう〉

○心豊かな子供たちに。読書の機会を増やそう。

○ガキ大将を中心にした遊びを育て、地域の自然の中で遊ばせよう。

○親の学習の場をふやそう。「親子の会」への親の参加が少ない、もっと参加を。

○親の連帯感は、子供の連帯感につながる。地域の和を育てよう。

○農作業、地域の行事に子供たちを必ず参加させよう。

詩・感想文で上位入選

大館北秋地区の国語教育研究会と学校図書館協議会で募集した、詩、作文、読書感想文コンクールで、町内の小中学生が、多数、上位入賞しました。

〔詩の部〕特選＝山田誠（東小四）「静かな森」平川陽子（西小六）「稲こき」

〔感想文〕特選＝佐藤百合子（東小五）「のどか森の動物会議」を読んで　入選＝杉渕靖子（合中一）　準入選＝吉田幸子（同）高谷千鶴子（同）三浦現子（合中二）三ケ田嘉子（東小四）

善意のご寄付

（敬称略　順不同）

〔香典返しにかえて〕善意に感謝し、故人のごめいふくをお祈りします。

鈴木　多治郎　福田（故　父　喜市）御所野一男　鎌沢（故　母　ハル）桜井文之助　下杉（故　妻　ハル）

〔歳末たすけあい〕篤志義援金七二五、五二二円ならびに義援品（秋田合川ライオンズクラブ、村駒商会、米倉印刷所、米倉石油、米倉吉造、松岡良輔、工藤イマ　秋北縫製　合川縫製、バンドー被服、合川電気工事、合川中央ソーイング、身障者更生協会　リバークロスサウンド、合川水道、合川農協、金沢商事、町建設協会、秋田イマイ、丸亀商店、後藤一俊、町連合青年会、サークルコロンボ、農協婦人部、木村一蔵、北秋信組合川支店、成田秀雄（魚）、合川タクシー、米倉木材、工藤水道丸山建設、西小学校児童、成東商店、マーケット小笠原商店、町職員組合、エコーハイツ職員、町福祉課職員　以上三十七件）

戸別義援金八七八、八三五円（二、〇七五件）

計　一、六〇四、三五七円

⊙歳末助け合い贈呈内訳

長期入院者（一〇一件）　二〇一、〇〇〇円

施設入所者等（六七件）　一九七、七〇〇円

生活保護世帯等の在宅援護者（一七二件）　五九六、〇〇〇円

町内福施設等（三件）　六〇九、六五七円

計　一、六〇四、三五七円

〔広報郵送料として〕都内武蔵村山市　木幡節子

西小学校児童も歳末助け合いに協力。同じ年代の福祉施設の子供たちに贈呈

慶弔だより　1月

○おめでとうございます。

小笠原英子　昭長女　増沢
小笠原宏子　昭二女　増沢
伊東清貴　忠敏二男　杉山田
桜田あさみ　定男二女　東根田
柴田国仁　松雄二男　八幡岱
福岡久紀　久美長男　駅前
小林　譲　均　二男　道城
斉藤恭介　辰美二男　駅前
村形裕樹　亀蔵長男の二男　川井

●おくやみ申し上げます

鈴木喜市　本人　福田
御所野ハル　一男母　鎌沢
畠山三郎　本人　駅前
桜井ハル　文之助妻　下杉
鈴木礼吉　計一　父　鎌沢
平川運吉　本人　李岱
松橋久司　本人　三里
土濃塚アキ　作兵衛母　芹沢
村上ノヨ　市蔵　母　鎌沢

3ばた講座

自分でつくる地方の時代

秋田魁新報社
政治経済部長　藤川浄二

「地方の時代」とは、「中央がダメになったからこんどは地方でがんばって下さい」という中央からの言葉です。しかし、車社会、情報がどんどん入って来る時代に、都市で失ったものは、もう地方でも失っています。

部落の情景が変わってしまいました。助け合い力を合わせた、かつてのような地域のふれ合いがあるでしょうか。

物から心の時代へ、経済から文化の時代へ。そうしたうるおいある人間生活を求めようという意味で「地方の時代」の必要が叫ばれているのだと思います。しかし「地方の時代を取りもどせ」と言われても、若い世代には、取りもどすものは何もないでしょう。

「地方の時代」は、取りもどすものではなく造り上げるものです。一人一人が、いかに堂々と生きるか。そして、生産する場が近く、歴史を確かめることができる「地方」が、造り上げて行く条件にはめぐまれています。今の大人が、一人一人、しっかりと生きることが大切だということです。

一月十九日の講座から。次回は十六日(土)一時半から。県立看護学院長　堀江友男氏の「男盛りを生きるために」他。多数ご参加ください。

即売会で活動資金

上杉体育協会

上杉体育協会では、1月3日、恒例のセリ売り大会を開きました。会員が持ち寄った品物を、タタキ売り。売り上げ金は、体協の活動資金として活用されます。品物は、まきたば、うさぎ1羽、ねずみ入りねずみ取り、豚1頭分の臓物など個性的なものばかり。中身をかくしてセリ台に上げると、景気のいいかけ声が飛び交い、たちまち売り切れ。食糧品は、さっそく仲間の手で料理され、懇親会のサカナにされました。セリ売りは正月行事として部落の楽しみになっています。

李岱でも体協結成へ

広がるスポーツ活動

李岱部落では、13日、体育協会の結成式を行う予定です。公民館主事、PTA、親子会ことぶきクラブ、婦人会など、部落内の各組織から有志が集って、準備委員会（会長－桜田昭一さん）を結成。会議と呼びかけを繰り返してきました。年会費を500円と予定。会員は100名をこえる見込みです。準備委員会では、○ジョッキングの集い　○部落運動会　○体育の学習会　などを計画。部落皆スポーツを目ざして、はりきっています。

熱戦、新春バスケット

球技町内大会もすすむ

冬の球技大会として続けられている“新春バスケットボール大会„は、1月6日、合高体育館で開かれました。大会には町内の職場部落チームが参加。熱戦のすえ、木戸石体協チームが優勝しました。

夜の時間を利用して行なわれている冬期社会人球技大会には、バスケットに30チームが参加。中盤戦に入り、連日、大接戦が続いています。部落チームとあって、応援合戦も盛り上がってきました。3月3日からはバレーボールのリーグ戦も始まります。

安全祈願と町政懇談会

成人学級林業部門

成人学級では15日、町公民館で、安全祈願祭をかねて、町政懇談会を開きました。林野就業者を中心に、70名余りが参加。祭壇に祈りをささげ、80年代にむかう決意を新たにして、町政の話し合いに入りました。

あぐらをかいて、ひざをまじえての話し合いで、意見も活発に出されました。特に林野行政については真剣な論議。また、図書館の建設や読書運動など文化行政へも要望。バイパス、簡易水道、雇用開発など時間がたりないほどの話し合いでした。

地域活動だより㉟

みんなと公民館の広場